

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公開番号】特開2017-209123(P2017-209123A)
 【公開日】平成29年11月30日 (2017.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報2017-046
 【出願番号】特願2016-102058(P2016-102058)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月28日 (2017.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出装置と、

第 1 制御手段と、

前記第 1 制御手段から送信される動作指示コマンドにもとづいて、前記演出装置を動作させる第 2 制御手段とを備え、

前記第 2 制御手段は、

前記第 1 制御手段から動作指示コマンドを受信したときに、前記演出装置を動作させられない場合には、受信した動作指示コマンドを無効化し、

同一の動作指示コマンドを連続して受信した場合には、後に受信した動作指示コマンドを無効化する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技の進行を制御する遊技制御手段を備え、

第 2 制御手段は、前記遊技制御手段から送信されるコマンドにもとづいて、第 1 制御手段にコマンドを送信し、

前記第 1 制御手段は、前記第 2 制御手段から送信されるコマンドにもとづいて、演出装置の動作に関する決定を行い、決定結果にもとづいて、前記第 2 制御手段に動作指示コマンドを送信する

請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(手段 1) 本発明による遊技機は、演出装置(例えば、スピーカ 27 や装飾 L E D 25、枠 L E D 28、第 1 可動物 78 a、第 2 可動物 78 b、演出表示装置 9 など)と、第 1 制御手段(例えば、図柄制御用マイクロコンピュータ 100 a および V D P 109 によって

実現される)と、第1制御手段から送信される動作指示コマンド(例えば、動作指示コマンド(図40参照))にもとづいて、演出装置を動作させる第2制御手段(例えば、電気部品制御用マイクロコンピュータ100bによって実現される)とを備え、第2制御手段は、第1制御手段から動作指示コマンドを受信したときに、演出装置を動作させられない場合(例えば、対象の演出装置が既に動作中である場合や、初期状態にない(初期位置にある)場合、他の演出装置と干渉する可能性がある場合、干渉しないことが確認できない場合など)には、受信した動作指示コマンドを無効化し(例えば、電気部品制御用マイクロコンピュータ100bがステップS927, S928, S930, S931, S932, S934を実行する部分)、同一の動作指示コマンドを連続して受信した場合には、後に受信した動作指示コマンドを無効化する(例えば、電気部品制御用マイクロコンピュータ100bがステップS921~S922を実行する部分)ことを特徴とする。

そのような構成によれば、演出装置に不具合が発生することを防ぐとともに、処理負担を分散させることができる。